

呉羽丘陵の竹林整備に汗

富山市の森林保全ボランティア団体「きんたろう倶楽部」は20日、富山市の呉羽丘陵で竹林整備に取り組み、里山再生を目指して竹を伐採した一写真。

同倶楽部や、近くの社会福祉法人



きんたろう

「めひの野園」の家族会、北陸電力環境部のメンバーら約50人が参加。1畝の市有地で活動し、高

さ約15mほどに達した竹をのこぎりで次々と切り倒した。竹はチップーと呼ばれる機械で細かく粉碎し、周辺にまいた。雑草の繁茂を抑える効果があるという。倶楽部は7年前から同丘陵の竹林整備を続ける。竹が生い茂ると日光を遮り、一帯の植物の生育を妨げるとされる。

北日本新聞 平成24年5月21日(月)